

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	・ハイレベルな文武両道により、高い学力と豊かな人間性を育む。	①学科改編に伴う普通科・スポーツ科学科の教育課程を精査し、検証を行う。 ②体育を特色としたさまざまな学習指導の取組みを行う。	①普通科では国語・数学・英語を充実させる。スポーツ科学科では専門的な内容の教育課程に基づいた授業を実施する。 ②豊かなスポーツライフの実現に向けて、日常的にスポーツに親しみ体力向上、健康増進に取り組む態度を育成する。	①充実した教育課程に基づき、実施できたか。 ②豊かなスポーツライフの実現に向けて、日常的にスポーツに親しみ体力向上、健康増進に取り組む態度を育成できたか。
2	生徒指導・支援	・部活動や行事に主体的に取り組む、自ら誇りを持ってのびやかで規律正しい生活を送る校風を維持する。	①規律正しい生活を維持できるよう指導、支援する。 ②部活動・行事における教育力、生徒の人間性、主体性の伸長を図る。	①HR指導、登下校指導や校外指導など教職員全員で、マナーやモラルの向上を指導、助言する。 ②厳しくも温かい生徒指導を実施するとともに、いじめ防止に関しては、日ごろから、素早く柔軟に対応する。 ③入部率75%以上を目標に入部率の向上に努める。	①生徒への指導が徹底できたか。生徒の規律性は保たれているか。 ②厳しくも温かい生徒指導を実施できたか、日ごろからいじめ防止に対して、素早く柔軟に対応できたか。 ③入部率75%以上を達成できたか。
3	進路指導・支援	・目標を持ち努力し続けることで一つ上の進路実現を目指す生徒を育てる。	①早期の目標設定、一つ上の進路実現を目指す進路指導を行う。	①自習室の活用を促進させるなど第一希望を目指す支援を行う。 ②ガイダンスの充実により大学進学率を増やす。 ③ガイダンスの充実によりセンター試験受験者数を増やす。 ④体育系大学の指定校推薦枠を増やす。	①妥協させるのではなく第一希望の進路先をめざさせる支援ができたか。 ②ガイダンス等で生徒に具体的な目標を持たせることができたか。 ③大学進学率を増やすことができたか。 ④体育系大学の指定校推薦枠を増やすことができたか。
4	地域等との協働	・地域の教育力を積極的に活用する。	①厚木北高校の情報を積極的に中学生、保護者、地域に向けて発信する。 ②地域と協働したグローバルな取り組みを行う。	①学校説明会を増やすことで学校の情報を中学生、保護者へ浸透させる。 ②ホームページをリニューアルし、適宜本校の情報を発信する。 ③厚木市など地域と協働して、留学生の受け入れ、国際交流等を実施する。	①十分な受検者数を確保できたか。 ②適宜ホームページの更新を実施できたか。 ③国際交流の取組を実施できたか。
5	学校管理 学校運営	①生徒第一に安心安全かつ快適な教育環境整備を進める。 ②チームで学校を運営する。	①学科改編に伴う施設設備等の整備計画に基づいた設備改修を実施する。 ②チームとしての学校運営を推進する。	①学科改編に伴いよりハイレベルな学習環境(視聴覚教室等)のICT設備を充実させる。 ②特色推進・学びづくりWGを設置し厚木北高校の未来について検討された内容について、グループ、学年、教科、部活動顧問等、すべてチームとして情報を共有する。	①学科改編に伴い、よりハイレベルな学習環境(視聴覚教室等)のICT整備を充実できたか。 ②特色推進・学びづくりWG内で検討された課題についてグループ、学年、教科、部活動顧問等、チームとして情報を共有することができたか。